



特定非営利活動法人

神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 396

Juli 2024

特定非営利活動法人 神戸日独協会
〒651-0085 神戸市中央区八幡通2-1-20
神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部1F
TEL/FAX 078-230-8150
E-mail: info@jdg-kobe.org
URL <https://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE
GESELLSCHAFT KOBE
Bei Kobe Regatta & Athletic Club
In Isogami-Park Hachiman-Dori 2-1-20
Chuo-ku Kobe, Japan 〒651-0085

暑中お見舞い

神戸日独協会会長 柘田 義一

猛暑の日が続いています。暑中お見舞い申し上げます。

盛夏を思わせる激しい暑さの毎日、局地的な記録的豪雨、ゲリラ雷雨と本年の梅雨は例年とは異なり異常ともいえるものでした。その原因として温暖化による種々の気候変動が挙げられています。温暖化は気象の分野だけではなく、農業生産や漁業分野へも強い影響を与え日常の食生活をも懸念されるようになってきました。このような時こそドイツをはじめヨーロッパでの気候変動・温暖化対策を参考にして喫緊の課題として温暖化を考えてみる必要があります。

昨年7月14日に協会事務所を神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部内に移転して一年が経ちました。移転後は大きな支障障害もなく協会活動を行うことができます。これも会員の皆様のご理解とご協力のお蔭様と心より感謝しています。

移転後はコロナ禍による諸制限もほぼ撤廃され、神戸リガッタ倶楽部の諸施設をも活用し、コロナ禍で中断していた定例行事の復活、新しい会員サークルの発足など移転以前にもまして活発に活動しています。これらの活動には新たに会員でない方々も参加してくださっているのはありがたいことです。

しかしながら、新事務所がかつて入居していた三宮の中心であった神戸国際会館より多少遠方（徒歩5分ほど）になったためか、会員の方々のご来室が少ないのが懸念されます。開室時間など改めて考慮しますが、三宮へお出での節はぜひともご来室ください。また講座やサークル活動にもぜひともご参加ください。

今後とも変わらずに協会活動にご協力いただきたく、お願い申し上げます。

神戸日独協会主催



ビアフェスト2024



ビールジョッキを高々と、プロースト！
隣の人と腕を組んでシュンケルンしながら、ドイツのビアソングを！
ドイツヴルストを味わいながら、プロースト！

神戸日独協会は、好評をいただいていた恒例の行事「ビアフェスト」を開催します。今年も猛暑が予想されています。冷たいビールとビアソングで猛暑を乗り越えましょう。
ご家族と一緒に、親しい友とともにビールを飲みながら、ビアソングを楽しみながら、楽しい一夜を過ごしましょう！お誘いあわせの上、ご参加をお待ちしています。

ドイツビアソング：アコーディオン演奏／平野 新祐さん、歌／岩島 佳子さん

日時：2024年8月3日(土)17:00～19:30

会場：ステーキ&ビアレストラン「ロイン三宮店」(神戸国際会館南前のビル地下1階)
神戸市中央区磯上通8-1-19 カーサグランデ神戸ビルB1 078-242-3611

チケット：一般6500円 会員および同伴者6000円(同伴小・中学生2500円)
(料理・飲み放題込み、着席buffet形式)

定員：60名(定員になり次第締め切り)

申込先	メール	info@jdg-kobe.org	TEL・FAX	078-230-8150(月～金14～17:00)
-----	-----	-------------------	---------	---------------------------

Bierfest 2024



Ein Prosit, ein Prosit der Gemütlichkeit!
Eins, zwei, drei, g'suffa!
Prost!



Anfang August veranstaltet die Japanisch-Deutsche Gesellschaft Kobe wieder ein „Bierfest 2024“ mit Musik (auch zum Mitsingen!).

◇Akkordeonist Herr Shinsuke Hirano und Singerin Frau Yoshiko Iwashima.

◇Datum：3. August 2024 (Sam.) 17:00 — 19:30

◇Ort：Bierrestaurant „Roin“ in Sannomiya, Kobe

Casa Grande Kobe Building B1 F (Südlich vom Kobe International House)
(Isogami-Dori 8-1-19, Kobe-Chuoku)

◇Kosten：6500 Yen (Mitglieder und Begleitung 6000 Yen)

訃報

シュレースビツヒ・ホルシュタイン州独日協会名誉会長 ペーター・ヤノツハ氏 Dr. Peter Janocha のご逝去

ペーター・ヤノツハ氏が長期の闘病を経て6月13日に87歳にて逝去されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

ヤノツハ氏は1970年にシュレースビツヒ・ホルシュタイン州経済省に入省され、1995年からシュレースビツヒ・ホルシュタイン州と兵庫県との協力関係を担当し、ほぼ毎年神戸を訪問されて、同州と兵庫県との提携樹立に貢献され、2003年に同省を退職。1984年から2014年までの30年間にわたりシュレースビツヒ・ホルシュタイン州独日協会会長を務められました。

ヤノツハ氏は2011年12月の神戸日独協会主催「日独交流150周年記念講演会」に来神されて講演をしてくださいました。また、2017年の兵庫県とシュレースヴィヒ・ホルシュタイン州友好提携20周年を機に、神戸日独協会とシュレースヴィヒ・ホルシュタイン独日協会との交流の推進に関する「協力協定書」のキールでの調印式にも立ち会ってくださいました。

(訃報は7月10日に現会長の Dr. Jens Neumann-Rodekirch 氏よりいただきました)

Nachruf

Ehrenvorsitzender Dr. Peter Janoch der Deutsch-Japanischen Gesellschaft SchleswigHolstein e.V.

Ehrenvorsitzender Dr. Peter Janoch ist nach langer, schwerer Krankheit am 13. Juni mit 87 Jahren verstorben.

行事報告

横浜日独協会との交流会、坂東俘虜収容所等徳島見学旅行に参加して

会員 川見 正之

7月2日18時30分より「ロイン三宮店」で横浜日独協会の皆様との交流親睦会が開催されました。横浜日独協会からは名誉会長の早瀬様、副会長の向井様、南雲様はじめ16名が参加され、神戸日独協会からは柘田会長、尾辺専務理事はじめ11名の参加となりました。また、大阪日独協会理事の和田様も参加されました。

柘田会長のご挨拶に続き早瀬名誉会長の乾杯の音頭で懇親会は始まりました。美味しい食事と、ビール、ワインをいただきながらの懇親会となりました。参加者の自己紹介を交えて神戸・横浜での日独協会の活動内容、趣味や、ドイツとの関わりについて、話が盛り上がりました。神戸・横浜両日独協会の長く続いている協力、友好関係にまつわるお話も聞かせていただきました。

又、大学の同窓会でそれぞれ神戸・横浜の日独協会の会員であることが判り今回の親睦会が再

会の場となった両会員のエピソードも伺いました。さらに私と同テーブルにおられた横浜日独協会の方が、私と同じIAESTEスイスへの1972年度インターンシップ派遣研修生だったことを知り、その偶然に驚きました。日独協会を通じた様々なご縁を感じました。

今回参加された横浜日独協会会員の中には神戸で育った方も数名おられ、まさに里帰りされたような打ち解けたムードでした。

懇親会の盛り上がりはまだまだ続きそうでしたが、翌日の坂東俘虜収容所等徳島見学に備えて、21時半頃にお開きとなりました。

翌7月3日午前9時半ごろに大型バスにて三宮を出発し約2時間で鳴門市ドイツ館に到着となりました。

鳴門市ドイツ館では主に坂東俘虜収容所でのドイツ人捕虜と地域住民との交流が実現した背景を当時の資料展示、第九シアター(ロボットと映像による展示)を用いてスタッフの方より説明してくださいました。要約すると;

- 第一次世界大戦時、日英同盟に基づき、日本は連合国側としてドイツの租借地青島(チンタオ)にてドイツ軍と対戦した。
- ドイツ軍は降伏し、ドイツ兵約4700名が捕虜として日本に移送された。そのうち約1000名のドイツ兵が1917年から1920年の約3年間、現鳴門市にある、坂東俘虜収容所に収容された。
- 収容所の所長 松江豊寿は戊辰戦争で敗れた旧会津藩士の子弟に生まれ敗者の痛みを味わった経験から常に敗者をいたわる事を信念として貫いた。そしてドイツ人捕虜に対してハーグ陸戦条約に基づき、人道的に接し可能な限りの自由で多様な活動を認めた。
- 収容所の中には製パン所、印刷所があり、兵舎の一部を利用した講堂では捕虜自身の企画・運営による講演会や、演劇・演奏会が頻繁に行われた。特筆すべきは1918年6月1日、坂東俘虜収容所のドイツ兵楽団が開いたコンサートにてアジアで初めてベートーヴェンの交響曲第9番「合唱付」が全楽章演奏されたことである。
- サッカー、テニス、クリケット、などスポーツ活動も盛んで収容所前に専用コートが整備され、捕虜によって管理運営されていた。
- 洋菓子のユーハイムやフロイドリーブも青島から日本に移送された捕虜が戦後日本に残って創始者となったメーカーである。

ドイツ館を出て近くの大麻比古神社境内にある「ドイツ橋」を見学しました。これは地元住民のために壊れた古い木橋に替わるものとしてドイツ人捕虜によって設計製作された石積みアーチ橋です。さらに坂東俘虜収容所跡地を訪れ、敷地内にあるドイツ兵の慰霊碑を訪問しました。慰霊碑前では、横浜・神戸日独協会の参加者全員で第九の合唱を行いました。

坂東俘虜収容所はたとえ敵国の捕虜であっても人間としての尊厳を守ることで、戦後の友好関係に寄与した良い例だと思いました。しかし、今も続くウクライナやガザ地区の戦闘のように、大国の思惑や憎しみの連鎖が断ち切れず、子供や一般市民が苦しんでいる残念な現実があることに心が痛みます。

鳴門の「魚大将」で昼食をいただいた後、バスで徳島市内にある「阿波おどり会館」へ行き阿波おどり公演を見学しました。簡単な講習に続いて一般見学者も参加の総踊りとなり、その中で横浜日独協会の最高齢の方が優秀賞を獲得され参加者、見学者からの拍手喝采となりました。

さらに、阿波おどり会館に併設のモラエスに関する展示ギャラリーを見学しました。

モラエスは1913年まで神戸にあったポルトガルの総領事でしたが、日本人妻の死後妻の故郷である徳島に移り住み文筆活動を行なったとのこと。

16時に予定通り全ての見学行程を無事終え、徳島空港経由で神戸三宮への帰路となりました。

今回、横浜日独協会の皆様との懇親会、鳴門・徳島への旅行で、学ぶことの多い有意義な時間を楽しく共有させていただきました。

両企画の計画、実行にご尽力してくださった、横浜日独協会、神戸日独協会の関係者の方々に感謝申し上げます。

会員の広場

このコーナーは、会報を通して会員相互の交流をしていただくための「広場」です。投稿をお待ちしています。今月は休載です。

投稿規定：1000字程度(字数を厳守)

MSPゴシック12ポイントの添付データ(ワード)にて毎月第4月曜までにメール

ドイツ歌声サロン

この会は、ドイツ歌曲・オペラの名曲、ドイツの流行歌やドイツ映画音楽、ビアソングのみならずドイツの家庭や集会で広く歌われ、日本でも親しみ歌い継がれてきたドイツの愛唱歌をも採り上げています。3ヶ月でドイツ語での歌3曲をマスターします。

8月は、引き続き In München steht ein Hofbräuhaus(ミュンヘンにはホーフブローイハウスがある)、Muß i denn(別れの歌)、An die Freude(歓喜の歌、ベートーヴェン交響曲第9番第4楽章で歌われる第一主題)を歌います。

講師：岩島 佳子さん

日時：2024年 8月3日(土) 14:30~16:00 (時間変更)

場所：神戸リガッタ倶楽部

参加費：2000円

参加条件：会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。

ドイツ語の歌を主として歌いますが、ドイツ語が初めての方もぜひともご参加ください。

申込先	メール	info@jdg-kobe.org	TEL・FAX	078-230-8150(月~金14~17:00)
-----	-----	-------------------	---------	---------------------------

ハントアルバイトの会(ポーセラーツ)

手仕事による製品作りのお好きな方の「会員サークル ハントアルバイトの会」が活動しています。カルチャー教室などでビーズ&ジュエリー刺繍やポーセラーツ等を学ぶ「ぶどうの木」を主宰している堀田真美子さんを講師としてお招きして、初めて参加の方はマグカップや小皿に、継続参加の方は希望の食器に希望の絵柄で製作します。自分のデザインによる食器作りを楽しみましょう。ご参加をお待ちしています。

講師：堀田真美子さん

日時：7月28日(日)・8月25日(日)14:00～16:00

場所：神戸日独協会

会費：初心者1000円、継続者3000円(材料費+窯焼き代+道具使用料)

参加条件：会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。

申込先	メール	info@jdg-kobe.org	TEL・FAX	078-230-8150(月～金14～17:00)
-----	-----	-------------------	---------	---------------------------

第236回 ドイツ語談話室

日時：2024年6月15日(土)

場所：神戸日独協会

テーマ：近年の悪天候、及び寄付について

今回の司会は原田耕作氏が担当した。まず初めに、今回初参加者があったので、自己紹介をしていただいた。ドイツ出身の方だが日本での滞在も古く、現在神戸の大学で教鞭をとっておられるとのこと。次に、皆さんでテーマについて話し合った。

以下に、参加者の皆さんの発言の一部を紹介する。

- 近年の悪天候の特徴は、かなり限られた地域に集中的な豪雨が降るといった、片寄った現象がよくみられることである。
- 最近の天気予報は、技術的に秀でた観測機器のおかげで、月単位や年単位の予測が出せるので、多くの業界での事業予測や生産予測に役立っている。
- 他方で1日の細かい予測は苦手なようでいつ突然に雨が降り出すのかわからないこともある。
- 悪天候の原因は地球の温暖化であると言われ、皆でCO2ガスの削減に努力することが求められている。
- 今年はもう6月の半ばだが、まだ雨が少なく梅雨に入っていない。その堂々とした水量で有名な華厳の滝は、水不足でしょぼんとしており、観光客ががっかりしている。
- 他方6月には熱波で35℃を超える日々があり、熱中症で救急搬送される患者も多く出た。
- 政府は熱中症対策にエアコン使うよう推奨するが、エアコンで室内は涼しくなっても外部に熱を放出するので街はますます熱くなる。一度日本中の家庭、企業、施設がエアコンを止めて、街を涼しくしてはどうか。
- 参加者の自宅ではエアコンを使わない。暑い時は霧を吹いて気化熱で涼しさを味わっている。

- UNICEFが寄付を募っている時は、はっきりわかっている団体なので、安心して寄付をしている。寄付をするときは、その寄付を募っている団体がどのようなもので、寄付の目的が何なのか、よく吟味することが必要だ。
- 日本赤十字社への寄付や、赤い羽根共同募金ははっきりした団体なので、安心して毎年寄付をしている。
- 日本は地震・津波・台風と災害の多い国なので、被災者の皆さんに応援の寄付をしたい機会が多いが、くれぐれも寄付金を取り扱う団体が本当に正しい団体かを見極める必要がある。
- 日本には古くから「講」の制度があり、例えば神社仏閣への参詣では、同志の人々が集まってお金を出し合い、それを代表の者にもたせて参詣の旅に出させ寄進するという伝統があった。

今後のドイツ語談話室の予定

第238回 2024年8月17日(土)14~16:00 テーマ : 食べ物はどのように変わったか

Protokoll der 236. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit: Samstag, 15. Juni 2024, 14 bis 16 Uhr

Themen: Die Unwetter der letzten Jahre und Spendenaktionen

Dieses Mal hatte Herr Kosaku Harada die Gesprächsleitung, und wir konnten auch einen neuen Teilnehmer begrüßen. Dieser stammt aus Deutschland, wohnt jedoch schon ziemlich lange in Japan und arbeitet als Professor an einer Universität in Kobe.

Hier einige der Wortmeldungen zu den Themen:

- Ein Merkmal der Unwetter aus jüngerer Zeit ist, dass sie häufig konzentriert auftreten und so in begrenzten Gebieten starke Regenfälle zu verzeichnen sind.
- Dank technologisch fortschrittlicher Beobachtungsgeräte können aktuelle Wettervorhersagen monatliche und jährliche Prognosen liefern, was für Geschäfts- und Produktionsprognosen in vielen Branchen sehr nützlich sein kann.
- Andererseits scheint es noch immer nicht leicht zu sein, detaillierte Vorhersagen für den Tag zu machen. Wann es plötzlich zu Regenfällen kommen wird, ist nicht immer klar.
- Die Ursache für schlechtes Wetter soll die globale Erwärmung sein. Jeder muss Anstrengungen unternehmen, um den CO2-Ausstoß zu reduzieren.
- Es ist schon Mitte Juni und wir befinden uns noch nicht in der Regenzeit. Der Wasserfall Kegon in Nikko ist für seine Stärke bekannt, zurzeit hat er aber kein Wasser und ist nur ein Rinnsal. Die Touristen werden sehr enttäuscht sein.
- Im Juni mussten wegen der Hitzewelle mit Temperaturen über 35 Grad Celsius viele Menschen ins Krankenhaus eingeliefert werden.
- Die Regierung fordert die Menschen auf, Klimaanlage zu benutzen, um Hitzschläge zu vermeiden. Die Zimmer werden damit kühler, die Auspuffhitze der Klimaanlage

erhöhen jedoch die Temperatur draußen. Man sollte einmal testen, wie sehr die Hitze in den Städten verringert werden kann, wenn die Klimaanlage nicht laufen.

-Im Haus eines Sohnes einer Teilnehmerin nutzt man die Klimaanlage nicht. Wenn es heiß ist, sprühen sie Nebel, um Abkühlung durch Verdampfungswärme zu erhalten.

-Wenn UNICEF um Spenden bittet, kann man sich beim Spenden sicher fühlen, weil die Organisation genau bekannt ist. Bei Spenden ist es wichtig, die Organisation, die um die Spenden bittet, und den Zweck der Spende genau zu prüfen.

-An Organisationen des Roten Kreuzes oder der Gemeinschaftskasse „Rote Feder“ , kann man unbesorgt spenden.

- Japan ist mit seinen Erdbeben, Tsunamis und Taifunen ein Land, das sehr anfällig für Katastrophen ist. Dementsprechend gibt es auch viele Spendenaufrufe. Stets ist zu überprüfen, ob es sich um eine wirkliche Hilfsorganisation handelt.

-In Japan gibt es traditionelles System namens „Koh“- . In Tempeln, Schreinen oder bei anderen Zusammenkünften sammelt man Geld, und ein Vertreter der jeweiligen Spendergruppe reist dann damit zu denen, die der Hilfe bedürfen, um das Geld im Namen aller persönlich zu überreichen.

Nächste Treffen:

Samstag, 17. August 2024, 14 bis 16 Uhr. Thema: Wie hat sich unsere Ernährung geändert

会員サークルの新企画 ドイツ映画サロン

企画趣旨

「ドイツ大好き」な人たちとは、ドイツ語が好き、都市や地方への旅行が好き、建築が好き、音楽が好き、歴史に興味がある、ワインやビールが好き、手仕事が好き等々と千差万別です。

現在ドイツ映画はドイツ語圏であるオーストリアやスイス（一部フランス語地区やイタリア語地区もあるが）との合作も多く、非常に活況を呈しています。芸術性を追求した作品だけでなく、質の高い娯楽作品もコンスタントに制作されています（Wikipedia より）。

これまで神戸日独協会では随時「ドイツ映画鑑賞会」を開催してきましたが、今回月に1回、ドイツ映画の好きな方々が一緒に集って、お茶やコーヒーを飲みながらドイツ映画を楽しむ会を企画しました。

ドイツ映画（ドイツの音楽映像、ドイツのオペラ等々をも含む）を会員や会員家族、神戸リガッタ倶楽部の皆さん、ドイツ映画好きの一般の方々と一緒に鑑賞して、ドイツ映画好きの相互交流、ドイツやドイツ語への関心を深めることに繋がればと願っています。

実施計画案

1. 日時・場所:

- ・毎月 1 回、午前または午後の時間に2時間～3時間。
- ・神戸日独協会または神戸リガッタ倶楽部ホール

2. 参加者:

- ・ドイツ映画に詳しい方に鑑賞前に少しオリエンテーションをしていただく。
- ・神戸日独協会会員と会員家族、神戸リガッタ倶楽部会員他。

3. 参加費:

- ・映画作品によりリース代金
- ・お茶・コーヒー＋お菓子代

8月の企画委員会にてより具体的な実施案を作成しますので、この企画にご賛同の方、ご関心のある方はぜひともご参加の上ご意見をお寄せください。

8月の企画委員会

この会は協会と会員との交流のための会です。昨年8月より会員の参加を得て、協会の事業について種々の企画をご提案いただき、協会の活動は活発化しています。

ぜひとも参加し、協会の運営や企画などにご意見をください。

日時 : 2024年8月10日(土)15:00~17:00

場所 : 神戸日独協会

話題 : 9月以降の事業企画について

※ご出席いただける方は、メール・電話にてご連絡ください。当日参加も可。

お盆休みのお知らせ

お盆休みのため、8月13日(火)~8月17日(土)閉室いたします。

なお、この間ドイツ語講座とドイツ文化教室もお休みになります。同期間はKR&ACも休館です。

Das Büro der JDG Kobe ist von 13. bis zum 17. August 2024 wegen der Sommerferien geschlossen.

会報ボランティア募集

次回の印刷と発送は8月23日(金)の予定です。ご協力をお願いします。

印刷 : キンコーズ三宮店(神戸市中央区雲井通4-2-2マーカー神戸ビル)10:30~

発送 : 神戸日独協会にて、12:00~

お手伝いいただける方は事前にご連絡ください。

行事等の写真について

会報には誌面の都合上、写真等は掲載できませんが、ホームページ・SNSでは閲覧いただけます。

 ホームページ Homepage	 インスタグラム Instagram	 X 旧 Twitter
---	---	---

イベントスケジュール

日時	催し	会場	申込〆切
7月28日(日) 14:00~16:00	ハントアルバイトの会 (ポーセラーツ)	神戸日独協会	当日参加可
8月3日(土) 14:30~16:00	ドイツ歌声サロン	神戸リガッタ倶楽部	当日参加可
8月3日(土) 17:00~19:30	ビアフェスト2024	ロイン三宮店	7月31日
8月10日(土) 15:00~17:00	企画委員会	神戸日独協会	当日参加可
8月17日(土) 14:00~16:00	ドイツ語談話室	神戸日独協会	当日参加可
8月25日(日) 14:00~16:00	ハントアルバイトの会 (ポーセラーツ)	神戸日独協会	当日参加可

各催しの申込み・お問合せは下記へ

☎️ : **078-230-8150** もしくは ✉️ : **info@jdg-kobe.org**

神戸市中央区八幡通2-1-20 神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部1F

神戸日独協会